

東京3大学オンラインツアー

例年、本校同窓会の協力を得て、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学の3大学を実地訪問して連携講座を開催していますが、今年度はコロナにより訪問は行わず、オンラインで、2日間にわたり実施しました。

オンラインということで人数制限を行うことなく、希望者全員のべ64人が参加しました。オンラインだからこそ可能な内容を盛り込んだり、離れたところから多数の同窓会の方々にご参加いただいたりするなど、充実した行事になりました。

【1日目 12月9日(水)】

- ・ 東京工業大学 13:20 開会 13:25 大学概要説明・キャンパスツアー
14:00 ライブ研究体験 14:50 学生団体FLAPによる企画
15:50 終了

1日目は、東京工業大学物質理工学院教授、藤居 俊之 先生（本校35回卒）にお導きいただき、大学の先端研究に触れたり、キャンパスの魅力などを存分に感じたりすることができました。普通は入ることができない研究室の中や、電子顕微鏡などの高度な設備をオンラインで見学でき、貴重な体験になりました。

藤居先生の講義に続いては、学生の留学促進団体FLAPの皆さんによる座談会が行われました。年齢の近い学生の方々の本音トークに、参加生徒はとても満足した様子でした。



【2日目 12月10日(木)】

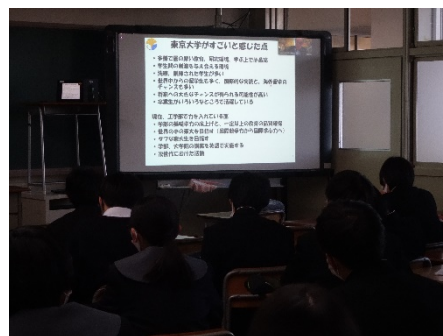
- ・ 慶應義塾大学 13:20 開会 13:25 大学紹介ビデオ、質疑応答、等
- ・ 東京大学 14:20 開会 14:25 大学紹介ビデオ、質疑応答、等
- ・ 東京姉水会 15:20 開会 15:25 懇談、等 16:40 終了

2日目は、慶應義塾大学法学部教授 北居 功 先生（本校32回卒）の講座で始まりしました。最初の大学紹介では、大学の規模の大きさや学問分野の多さ、学祭の楽しさに一同とても驚き、つよく魅かれました。また、北居先生は民法について高校生向けにわかりやすくご講義くださり、法律の理解や興味を一気に高めた生徒がたくさんいました。

東京大学の連携講座では、元東京大学大学院工学系研究科(工学部)教授で、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構で室長をしておられる 高田 毅士 先生（本校25回卒）にお世話になりました。東京大学がいかによばらしいところか、そこでの人との出会いや学問研究がいかによ充実しているかが、深く感じられるお話しでした。

東京姉水会の座談会では、和田さん、松岡さん、久保田さん、藤居さん、蓮溪さん、高田先生、藤居先生にご出演いただき、昔の虎高の話や、卒業後に歩いてこられた道などを、

自由にお話しくださいました。面白いエピソードやご経験にもとづく深いお話しなどが盛りだくさんで、興味が尽きることがありませんでした。



2日間にわたり、実地訪問こそかないませんでしたが、補ってあまりある充実した内容の行事になりました。参加した生徒は一様に大変満足し、その後の意欲・活力につながっていった様子でした。

高田先生、北居先生、藤居先生、東京姉水会の皆さんには、大変お忙しい中、時間を作っていただき、生徒に貴重な機会を与えてくださり本当に有難うございました。今回の行事は生徒にとってすばらしい出会いの機会となり、また、今後人生を歩んでいくうえでの大きな指針となったものと思っております。

次年度、コロナが落ち着き、あらためて実地を訪問し皆様方にお会いできることを切に願っております。有難うございました。

以下、学年通信の記事を、掲載します。

<p> 日東第一の矜りを受け継ぎ 次代を創造する</p> <p>75回生 Pioneer</p> <p>to pursue ideals and open a new era with enthusiasm and responsibility</p>	<p>虎姫高校第1学年通信</p> <p>第34号</p> <p>令和2年12月16日</p> <p>文責 学年主任</p>
---	--

東京3大学ツアー

東京3大学のオンラインツアーには2日でのべ60人余りが参加しました。各大学のキャンパスや学問の魅力が存分に感じられ、実りの多い2日間になりました。参加者の感想や記録を少し掲載します。参加できなかった人も、ぜひ内容の一端に触れてください。

<東京工業大学>

・普通なら入れないような場所まで見学でき、オンラインの特徴をうまく利用した内容で、参加できてよかった。 ・東京工業大学でしかできない実験や行事について知ることができました。 ・完全な理系大学だと思っていましたが、文系の考えも取り入れている、とても良い大学だという印象を受けました。 ・FLAPの皆さんとの対談で、受験に対する恐れが少しなくなりました。 ・これまでで一番、「留学」について考えました。「もし英語ができれば…」できるようにになりたいと思いました。

<慶應義塾大学>

・先生の民法についての講義では、難しい内容ながら僕たちにもわかりやすく説明してくださって、よい勉強になった。 ・6つのキャンパス、10学部、14研究科あるとても大きな慶応大学に対する憧れの気持ちが強くなりました。 ・三田祭は大学の文化祭の中でもトップレベルの、熱い文化祭だと感じました。

<東京大学>

・良い環境で友達と刺激し合って勉学に努めることほど面白いことはないと思った。 ・高田さんは様々な経歴を持っておられ、いろいろなことにチャレンジしてこられたことに感銘を受けました。自分もこの3年間勉強に集中して、良い大学に入って様々な選択肢を手にしたと思いました。 ・「大学に入りたから」ではなく、「大学で〇〇を勉強したいから」受験勉強を頑張ってみたいと思うようになりました。 ・高田先生は「企業で海外との事業があり、留学をすることで可能性が広がる」「留学で世界の水準を知った」とおっしゃっておられ、留学のよさがわかりました。 ・最先端の研究に触れることができれば、その一つ上のことを自分でできたら、それが最先端になる。

<東京姉水会>

・虎高で学ばれた方が様々な場所と分野で活躍していることを知り、自分もそのようになりたいと思いました。 ・先輩方の勉強方法は参考になりました。特に、勉強したことを記録するという方法をやっていきたいと思います。 ・「勉強は社会人になっても続く」というメッセージが心に残りました。 ・3年間必死で勉強したとおっしゃっていました。私はまだ高校1年生だから大丈夫だと思っていたのですが、今からやります。意欲が湧いてきました。

私は主に3つのことを強く感じました。

一つは、「大学の先にある広い世界」を実感したことです。今、皆さんの多くは、進路については「文系・理系」が最大の関心事で、次いでその先にある大学・学部がうっすらと見えるような状況ではないでしょうか。しかし実は、さらにその向こうに、ずっと大きな世界が広がっています。今回のツアーでお話いただいた方々は、虎高から大学に進み、それぞれその先の広い社会で実力を発揮し活躍しておられます。高田先生のお話にもありましたが、高校や大学は人生の初期のほんの短い期間にすぎません。「そうだ、大学より向こうに広い世界と長い時間があるんだ。その世界と時間をどう過ごすかが大事なんだ」と気づかされたように感じます。さらに、先輩方の温もりと自信に満ち溢れた話しぶりに、「こんな風に生きてごらん」と励まされたようにも感じました。

二つ目は、「勉強の値打ち」です。先輩方は口を揃えて「勉強の大切さ」を語っておられました。その口調からは、勉強を自発的に当然のこととして（そしておそらく楽しんで）してこられた姿勢を感じることができました。「勉強は人生を豊かにしてくれるよ、喜びや充実感を与えてくれるよ」という隠れたメッセージが、話のふしぶしから現れているようでした。皆さんの中で勉強を「せなあかんもん」ととらえている人がいたら、先輩方のこのような姿勢を見習いたいですね。（なお、英語教師の私は、先生方や東工大の学生さんの「英語はあたりまえ」という言葉を、膝を打ちながら聞いていました。）

三つ目は、「同窓のつながり」です。もともと毎年のこの企画自体が、先輩方々のおかげで実現しています。今回オンラインとなりましたが、多忙な中企画を進め時間調整をして、出演してくださいました。東京姉水会（虎高の同窓会名は「姉水会」）の方々も多数参加し、後輩や故郷への愛情あふれるアドバイスやメッセージをたくさんくださいました。ありがたいものです。世代や場所が離れていても共通の基盤を持つ「仲間」なのだという気持ちになりましたね。

今回の東京ツアーでは、社会で活躍する先輩方への憧れとともに、虎高生としての誇りと、同窓・同郷の絆を感じ、活力をもらいました。皆さんの中にもきっと、将来、逆の立場で後輩に力を与えてくれる人が現れるでしょう。頑張りましょう。